２０２５年（令和７年）　９月２０日　土曜日
東奥日報　１２面　掲載

東北大会懸け４強激突

秋季県高校野球 きょう準決勝

山田高 層の厚い投手陣 × 八工大一 手堅く好機演出

光星 北口 投打けん引 × 弘東 つなぐ打線好調

秋季東北地区高校野球県大会は第8日の20日、青森市の県営球場で準決勝2試合を行う。第1試合（午前9時45分開始予定）は青森山田と八工大一、第2試合（午後0時15分開始予定）は八戸学院光星と弘前東が激突する。今大会の上位3校は、来春の選抜高校野球大会（センバツ）の選考材料となる東北大会に出場する。4強のここまでの戦いぶりを振り返る。

▽青森山田―八工大一

青森山田は、背番号1で4番を打つ高橋がチームの柱。青森商との3回戦では本塁打を放った。準々決勝まで全3試合に先発した左腕船橋を含め5人が登板しており投手層が厚い。

八工大一は、3試合で計12犠打飛をマークし、確実に走者を進めて好機をつくる。3試合全て完投しているエース右腕亀井が、青森山田の強力打線をどこまで抑えられるか。

▽八学光星―弘前東

八学光星は、140キロ台の直球を投げるエース北口が、2回戦の弘前南戦で完封、準々決勝の弘学聖愛戦で1失点完投と好投。打っても全3試合で安打を放ち、投打の柱としてけん引している。

弘前東は2、3回戦で2桁安打を放つなど打線が好調。中でも3番澤が当たっている。打線全体で長打は少ないが、つないで好機をつくる。3試合全て継投で勝ち上がり、相手に的を絞らせない。

決勝は21日午後0時半から、3位決定戦は同日午前10時から、ともに県営球場で行われる。（佐藤正悟）

きょうの試合

（左のチームが一塁側）

◇県営

▷準決勝

青森山田―八工大一（9・45）

八学光星―弘 前 東（12・15）

東奥日報社提供
この画像は当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです